

様式第4号（第12条関係）

事業者行動報告書

2025年7月29日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

兵庫県神戸市西区高塚台3丁目1番35号

氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）

神港精機 株式会社 取締役社長 北中 隆司

（代理人）滋賀守山工場長 諏訪 和也

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第21条第1項、第22条第2項において準用する同条例第21条）の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあつては、名称 および代表者の氏名）	神港精機 株式会社 取締役社長 北中 隆司
事業者の住所 （法人にあつては、主たる 事務所の所在地）	兵庫県神戸市西区高塚台3丁目1番35号

1 事業所の概要

事業所の名称	神港精機株式会社 滋賀守山工場
事業所の所在地	滋賀県守山市三宅町30番地
主たる事業	細分類番号 2 6 9 3 真空装置・真空機器製造業
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者

2 計画期間および報告対象年度

計画期間	2021 年度 ～ 2026 年度
報告対象年度	2024 年度
計画の実施状況	別添のとおり

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第2号

(第1面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の実施状況

取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1 運用対策	デマンド監視システムによる節電対策	継続実施中。目標電力値を超えないように監視を行い、節電を図る。
2 設備導入対策	2号棟VP組立場MB室 省エネタイプの空調機の更新による空調効率の改善	2021年12月、MB室空調機2台のうち1台を省エネタイプの機種に更新する。
3 設備導入対策	厚生棟の照明をLEDタイプに更新	2022年9月、厚生棟廊下の照明をLEDタイプに更新し、節電を図る。
4 設備導入対策	守衛室断熱塗装の実施による室内の空調効率の改善	2022年2月、守衛室断熱塗装工事が完了し、室内の空調効率を改善する。
5		2023年6月、出荷倉庫の照明をLEDタイプに更新し、節電を図る。
6		2023年11月、3号棟高真室の空調機6台を撤去し、省エネタイプの機種3台に更新する。
7		2023年12月、3号棟高真室の照明をLEDタイプに更新し、節電を図る。
8		2024年4月、2号棟組立場の照明をLEDタイプに更新し、節電を図る。
9		2024年7月、1号棟事務室の空調機2台を撤去し、省エネタイプの機種2台に更新する。
10		2024年8月、守衛室の空調機1台を撤去し、省エネタイプの機種1台に更新する。
11		2024年12月、厚生棟、駐車場、構内外灯等の照明をLEDタイプに更新し、節電を図る。
12		2025年1月～3月、0号棟、1号棟事務室、2号棟事務室、2号棟機械場、3号棟組立場、クリーンルームの照明をLEDタイプに更新し、節電を図る。

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1 該当なし		
2		
3		

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

守山工場	基準年度	実績					計画	
	2013年	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
CO <sub>2</sub> 排出量(原単位)の削減率目標			24.91%	26.36%	<b>27.78%</b>	<b>29.18%</b>	30.54%	31.89%
CO <sub>2</sub> 排出量(原単位)の削減率実績		23.43%	30.45%	42.00%	<b>34.05%</b>	<b>34.58%</b>		

  

全社工場	基準年度	実績					計画	
	2013年	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
CO <sub>2</sub> 排出量(原単位)の削減率目標			23.13%	24.81%	<b>26.45%</b>	<b>28.06%</b>	29.64%	31.17%
CO <sub>2</sub> 排出量(原単位)の削減率実績		21.41%	25.90%	34.15%	<b>27.50%</b>	<b>32.89%</b>		

  

<p>昨年度より守山工場の売上は減少、全社の売上はほぼ同額、LED照明更新の取組効果もあり、CO<sub>2</sub>排出量は減少し、守山工場と全社とも温室効果ガス削減率は目標を上回る結果となりました。</p>
--

(第2面)

2 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組の実施状況

(1) 取組の実施状況

取組の内容	取組の実施状況
<p>弊社はあらゆる産業で使用される真空ポンプ・装置の開発・製造・販売をしています。</p> <p>真空ポンプにおいては、真空ポンプ能力の効率化を計り、従来製品よりモータ出力を小さくしたポンプを生産し、省電力化を行います。また、オイルの使用を少なくした、ドライポンプを生産し、廃棄オイルの削減を行います。省電力化や廃棄オイル処理における温室効果ガスの削減に貢献するものです。</p> <p>真空装置においては、低摩擦抵抗(DLC膜)の成膜装置を生産し、自動車の駆動系にコーティングすることで駆動エネルギーの伝達効率を高め、燃料や電力の消費を低減し、温室効果ガスの削減に貢献するものです。本計画期間において、上記の製品の拡販を通じて、低炭素社会づくりに貢献するものです。</p>	<p>関西ものづくり新撰2025に当社のドライ真空ポンプSSX600が選定されました。CCS(Carbon dioxide Capture and Storage)の普及に不可欠なCO2回収装置の実用化には厳しい運転条件と省エネ性能の両立が不可欠です。本製品は厳しい要求を満たしたことで大阪・関西万博で公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)のDAC(Direct Air Capture)実証装置に採用されました。DACは大気からCO2を直接回収する技術です。</p> <p>真空装置においては、DLC膜をはじめ低摩耗、低摩擦なトライボロジー特性を持った硬質膜の開発と平行して、高効率な半導体パワーデバイスの開発に寄与するためAlNやGa2O3薄膜の開発を進めています。これは次世代の高効率な電力送配電システムや航空宇宙開発への活用が期待されます。</p>

(2) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

<p>関西ものづくり新撰2025の選定や大阪・関西万博でのDAC装置への採用など、当社のドライ真空ポンプの技術が認められた証であり、CO2削減への貢献は大きい。この技術を広めることで、よりいっそうの温室効果ガス削減に貢献する商品の拡販に繋がるものと期待できる。また、高効率なパワー半導体の実現できれば、エネルギーロスの少ない送配電システムにより今後の脱炭素エネルギー社会への貢献が期待される。</p>
--